

「ICT地域防災情報支援システム」 調布市フィールド試験の実施内容

□ 調布市の地域特性と避難課題

調布市は、比較的木造住宅が多い地域特性から有事には同時多発火災のリスクがある。津波の場合は「高台へ避難」でよいが、同時多発火災ではローカル情報がないと避難行動が取れない

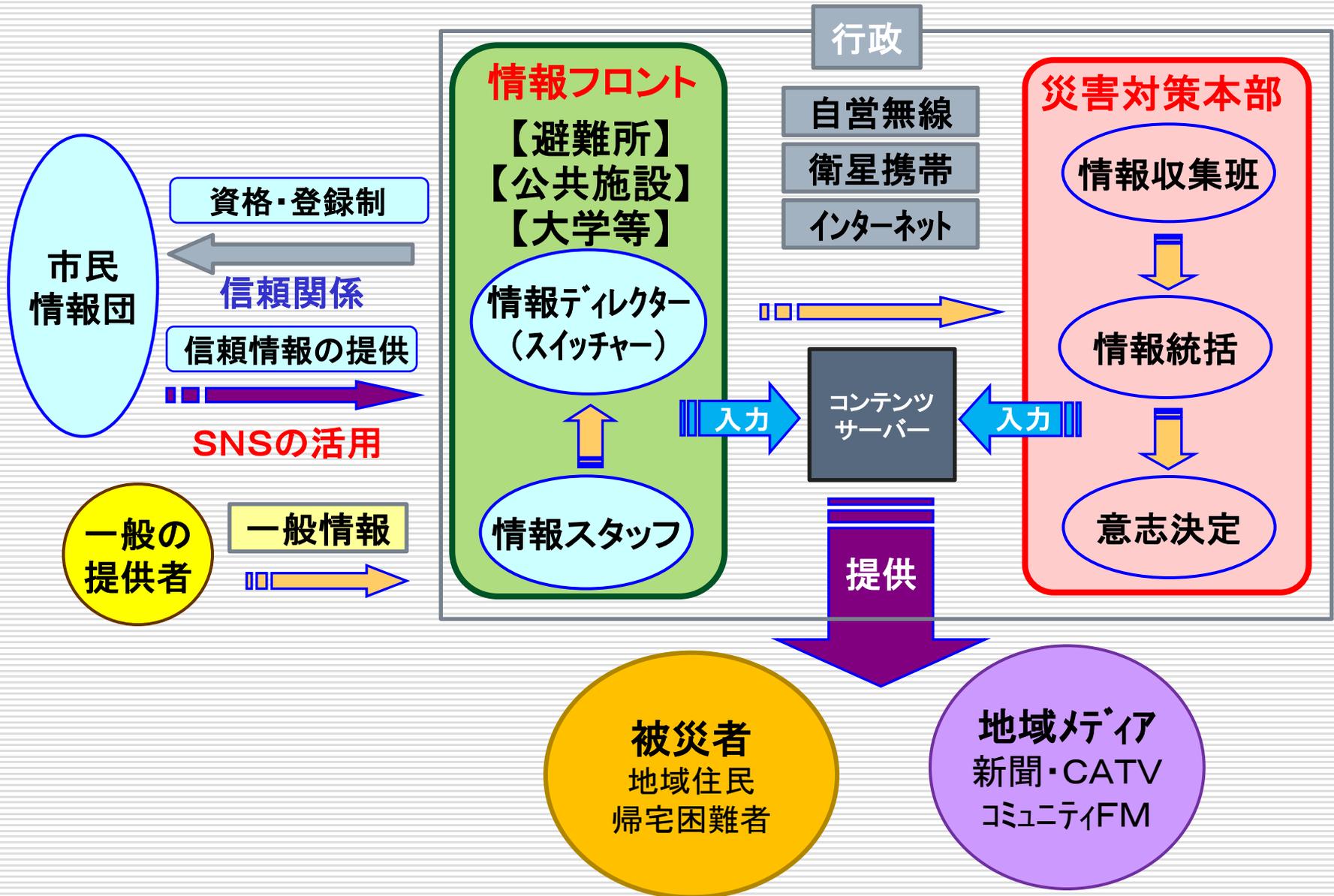
□ 情報団による情報収集

情報収集する市民ボランティアで、町内会毎に予め登録。自宅周辺の被害状況をSNSから情報フロント(避難所に開設した情報前進基地)に報告
情報フロントでは、情報団長(スイッチャー)が集まった情報の中から確度の高い情報だけを選定しコンテンツサーバーに入力

□ 地域住民の避難行動

- ・最寄りの避難所ルートが住宅倒壊で通行止めとなり別な避難所へ移動
- ・移動時、まちかど情報ステーション(コンビニ・地図掲示板等)に立ち寄る
- ・ネオポスターからローカル情報を収集し、より安全なルートを確認

「ICT地域防災情報支援システム」(行政プッシュ型)



「ICT地域防災情報支援システム」(被災者プル型)

現 状

現状+ これから

行政情報

防災行政無線
ホームページ

メディア情報

ラジオ
ワンセグ

被災者

まちかど情報ステーション

災害情報
安否情報

ネオポスター

コンビニに
防災ポスター
予め貼付

避難情報

- ・避難所のライブ映像
- ・避難所へ誘導情報(AR)
- ・ルート上の被災情報

ネオポスター

コンビニ

郵便局

バス停



総合防災案内板



<広域情報を受け取るだけ>

<ローカル情報を自ら引っ張る>